

2年ぶり3人目となる厚真町観光大使に就任しました。9月1日付ですが、コロナ禍の影響で委嘱状を受け取ったのは10月8日。「委嘱を待ちわびました」。意欲満々の第一声を発した金澤さんにあふれる思いを伺いました。



厚真町観光大使に就任  
Vol.19 かなざわ ちみょう  
金澤 智明さん(55歳)

「厚い真心のまち」で歴史を刻みたい

めて見つかった中世陶器・常滑壺とこなめつぼなど、歴史や産業すべてに潜在力が宿るといいます。「歴史女としても、興味深い町なのです」。

北海道胆振東部地震から3年が過ぎ、復旧・復興の道を進んでいます。「町長を先頭に、町民の皆さんとスクラムを組ませていただき、厚真の底力を伝えていきたいと思っています」。自らを「コンシエールジュ(案内人)と呼び、町内にとどまらず他地域との連携を模索しながら、相乗効果を高めたいとの思いを抱いています」。

「肩書は少ないですが、キャリアと引き出しはたくさん持っています」と金澤さん。町の魅力を磨き上げ、他町村から『素敵なお手本になる町だね』といわれるような情報を発信していく「コンシエールジュを目指します」。

「厚真は『厚い真心』と書きまします。絆を大切に厚真の底力を伝えていきたい」

札幌市内に会社を設立し、オンラインライターなどの仕事をしています。町とのかかわりは、約6年前。町特産ハスカップのブランド化に基づいたPR誌の制作がきっかけで人脈が広がり、厚真に通うようになりました。特に、食べた新ジャガの味に衝撃を受けました。樽前山の噴火によって形成されたミネラル分が豊富な大地の「宝物」だと直感したそうです。

「他町村のメイクインと食べ比べると、厚真産はナッツや栗のような香ばしさがあって感動しました」。厚真に恋をした瞬間でした。以来、町を総称して「厚真テロワール」と名付けました。テロワールは、フランス語で気候や風土に恵まれ、人を含めた魅力あふれる地域を意味します。昭和12年にブランド米に認定された「さくら米」や昭和27年に北海道内で初

あなたにとっての  
愛すべき厚真を投稿してください

フェイスブック @atsumatownhokkaido  
Instagram atsumalovers  
ハッシュタグ #atsumalovers をつけてフェイスブックまたは Instagram に投稿してください。

# ATSUMA LOVERS